

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地		
新潟こども医療 専門学校	平成10年3月25日	小見 英晴	〒950-0084 新潟市中央区明石1-3-5 (電話)025-241-0136		
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地		
学校法人 新潟高度情報学園	平成10年3月25日	梶坂 昌業	〒950-0084 新潟市中央区明石1-3-12 (電話)025-241-0133		
目 的	学校教育法に基づき、教育・社会福祉分野において専門的な知識・技術と合わせ、教養・人格度の高い道義・礼節・作法をも身につけた人材の育成を目的とする。				
課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
教育・社会福祉 専門課程	こども発達学科	3年(昼)	2545単位時間 H26年度(又は単位)	平成22年 文部科学大臣告示 第249号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技
	1695単位時間 (又は単位)	795単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1040単位時間 (又は単位)	205単位時間 (又は単位)
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
210人	196人	6人	25人	31人	
学期制度	■前期：4月1日～9月20日 ■後期：9月21日～3月31日	成績評価	■成績表(有)無) ■成績評価の基準・方法について 学期末試験・中間試験に重点を置 き、平素の授業態度・確認テス ト・授業出席率等多面的に評定し た総合点によってA～Dの4段 階評定をする。上位A～Cが単位 認定される。		
長期休み	■学年始め：4月1日～4月14日 ■夏季：8月1日～8月31日 ■冬季：12月24日～1月7日 ■学年末：3月20日～3月31日	卒業・進級条件	・年間出席率90%以上 ・成績評価が全てC評価以上 ・学費および諸経費の年度内全納 上記全ての条件を満たすこと。		
生徒指導	■クラス担任制(有)無) ■長期欠席者への指導等の対応	課外活動	■課外活動の種類 保育園・幼稚園・施設でのボラン ティア活動 ■サークル活動(有)無)		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 保育園 幼稚園 施設 ■就職率※ 100 % ■卒業者に占める就職者の割合※2 % ■その他(任意)	主な資格・検定	幼稚園教諭二種免許状 保育士資格 社会福祉主事任用資格 Microsoft Office Specialist Word 2010, Excel 2010, リトミック研究センタ ー認定 幼稚園・保育園のためのリトミッ ク指導資格 1級		

中途退学の現状	<p>■中途退学者 9 名 ■中退率 0.4 %</p> <p>平成27 年 4月 1日在学者 205 名 (平成 27 年 4 月入学生を含む)</p> <p>平成28 年 3月 15日在学者 196 名 (平成 28 年 3 月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由 進路変更</p> <p>■中退防止のための取組 補習授業、個別ガイダンス、保護者面談等、きめ細やかな個別指導を実施している。</p>
ホームページ	URL: http://www.kodomoiryu.com

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

国家資格である保育士資格・幼稚園教諭2種免許状を取得するために、幼稚園、保育園等の児童福祉施設、社会福祉施設等での実習を行う。

規範意識が高く実践力のある教員、施設職員を育成することを目標とする。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年4月1日現在

名 前	所 属
吉澤 克彦	新潟県教育カウンセラー協会 副会長
北澤 潔	学校法人 聖尚学園 認定こども園 理事長
山賀 亮一	社会福祉法人 新潟モグラ会 ポプラの家 施設長
田中 和枝	学校法人 新潟高度情報学園 新潟えきなか保育園 園長
小見 英晴	新潟こども医療専門学校 学校長
横堀 正浩	新潟こども医療専門学校 副校長
戸川 俊	新潟こども医療専門学校 教務主任
山田 すみ江	新潟こども医療専門学校 こども発達学科主任
石川 美穂	新潟こども医療専門学校 保育科主任
河合 純	新潟こども医療専門学校 こども未来学科主任

第1回 平成27年 12月22日(火) 13:30~15:00 於:新潟こども医療専門学校 1号館 132教室

第2回 平成28年 3月15日(火) 13:30~15:00 於:新潟こども医療専門学校 1号館 132教室

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

目指すべき職種を正しく理解するとともに、社会生活の基本的ルールを身につけ、社会に貢献する精神を育むことが求められる。そのために、実社会との緊密な連携・協力のもと、情報収集できる機会の充実を図り、現場体験活動を強化推進する。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
教育実習	幼稚園の機能と幼稚園教諭の職務について学ぶ。 子どもの実態を知り、指導や援助方法について学ぶ。	学校法人神宮学院 神宮幼稚園 寺尾幼稚園 親松幼稚園 他
保育実習Ⅰ	保育所の生活に参加し、乳幼児への理解を深める。 保育所の機能と保育士の職務について学ぶ。 利用者のとのふれあいを通じて支援の機能。施設職員の役割について理解する。	学校法人神宮学院 おやまつ保育園 こりす保育園 社会福祉法人 更生慈仁会 十字園 他
保育実習Ⅱ	乳幼児への理解をさらに深め、発達段階に合わせた援助について学ぶ。	学校法人新潟高度情報学園 新潟えきなか保育園 優の森保育園 ほたる保育園 他
保育実習Ⅲ	児童福祉施設等(保育所以外)の生活に参加し、子どもへの理解を深めるとともに、児童福祉施設等の機能と保育士の職務について学ぶ。	社会福祉法人 新潟もぐら会 もぐら工房 新潟市中央福祉会 ワークセンター日和山 他

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教職員は担当教科における指導をより豊かなものにするため必要な知識・技術の向上を図るとともに、新たな業務上の要請に応えるために自らの能力開発に努めなければならない。また教職員は指導力向上のため、教育・研修等を受ける権利を有するものとする。これに対して、学校はそれぞれの教職員の専門分野、経験および能力に応じて適切な研修を受けさせるよう努めなければならない。

このことは本校研修規程第2条に明記されており、教職員個々の指導力向上ならびに子ども発達学科全体の組織力強化に結びついている。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年4月1日現在

名 前	所 属
牛腸 和子	C o C o ・ ネット 代表
白川 初美	社会福祉法人美勢会 あいりす保育園 理事長
石澤 直樹	学校法人新潟高度情報学園 理事
小見 英晴	新潟子ども医療専門学校 学校長
横堀 正浩	新潟子ども医療専門学校 副校長
戸川 俊	新潟子ども医療専門学校 教務主任
小熊 亜沙子	新潟子ども医療専門学校 医療分野学科主任

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: http://kodomoiryo.com/?page_id=1100

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.kodomoiryo.com>

授業科目等の概要

(教育・社会福祉専門課程 こども発達学科) 平成 27 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			憲法	憲法の基本原理, 各人権規定の内容及び統治機構について学ぶことを通じ、法学的思考(バランス感覚)を身に付けることを目標とする。	1前	60	2	○		
○			情報リテラシーと処理技術	Word の効果的利用を実現するため、演習ではコンピュータの基礎知識を身につけ、キータッチの練習から日本語文書処理ソフトを用いた文書作成を学習し、コンピュータリテラシー能力を養うことを目的とする。 MOS Word2010 検定合格を目指す。	1通	30	2		○	
○			健康科学	生涯にわたって健康の自己管理ができる知識を身につける。又、定期的な運動が持つ生活習慣病予防について知識を深める。	1後	30	1	○		
○			英語コミュニケーション I	外国語である英語や、外国の文化に対して興味・関心を持ち、学ぶ意欲を育てる。それと同時に、自分の考えを英語で表わす基礎的な能力を伸ばすとともに積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。また、英語圏文化に親しみ、国際感覚を養う。	1通	60	2	○		
○			こども学概論	こどもが本来持っている力を理解し、それぞれ抱える問題や障害についての要因や背景について考察する。	1前	60	2	○		
○			社会福祉論	家族がそれぞれ抱えている課題や現代の課題を理解し、家族や地域を支援する保育士の役割を理解する。社会福祉全般の制度を理解し、知識を深める。	1前	60	2	○		
○			こどもと音楽	幼児教育に必要な音楽的基礎知識・演奏技術を習得する。	1通	60	2	○		

○			こどもと造形 I	保育者としての、絵画、工作等の基礎技能を高める。	1 前	30	1		○	
○			児童家庭福祉	子どもをとりまく環境や、これまでの歴史を学ぶことで、今必要な知識は何かを学ぶ。保育・福祉の現場で必要とされる制度について学ぶ。	1 後	60	2		○	
○			家庭支援論	家族がそれぞれ抱えている課題や現代の課題を理解し、家族や地域を支援する保育士の役割を理解する。	1 後	60	2		○	
○			保育原理	保育の意義について明確な認識を持ち、その依拠する原因を理解する。また、地域における「保育所」の役割を、「子育て支援」という観点から吟味する。同時に、保育の原理及び保育の歴史の変遷と保育思想について理解する。	1 前	60	2		○	
○			社会的養護	保育士国家試験科目である「社会的養護」で合格点である6割が取れることを目指す。 児童福祉法第7条で定める児童福祉施設全11施設の概要理解を目指す。	1 前	60	2		○	
○			教育原理	こどもの可能性を引き出すために、教育の意義について理解するとともに、教育に関する基礎理論・歴史、教育に係る制度・法規・行政及び教育実践・教育方法について理解し、教育活動に活かせるようにする。	1 前	60	2		○	
○			発達心理学	保育者を目指すうえでの、発達心理学の基礎を習得する。	1 前	60	2		○	
○			教育心理学	保育者を目指すうえでの、発達心理学の基礎を習得する。	1 後	15	1		○	
○			教材研究 I	保育現場で活用できる作品（グッズ）を作り、演じる練習をする。保育者としての基本的な技術を身につける。	1 通	60	2		○	
○			保育実習指導 I	実習のマナーや常識を知り、日々の学校生活の中で身に着け実践できるようになる。 乳幼児の育ちやその援助法を学び実習での経験を実習日誌に記録、保育者としての役割に理解を深める。 指導案立案の基礎を学ぶことで、自らテーマを見つけ、簡単な部分実習指導案の立案ができるようになる。	1 通	30	2		○	

			保育実技の基礎を学び、乳幼児の年齢や育ちを考慮しながら自らテーマを見つけ立案することを経験する。						
○		実習	学校で学ぶ理論と保育実践のすり合わせを行いながら、子どもの発達や保育者の関わりを体験的に理解し、技術を習得する。 社会人としての礼儀・常識についても気付き、身につける。	1 2 3 通	720	6			○
○		スポーツ実技	様々な運動・スポーツを通して、自らが生涯にわたって運動に親しむ態度を養うとともに、こどもに身体活動を指導する資質や能力を育む。	1 通	15	1			○
○		こどもと造形Ⅱ	描画とデザインの基本及び用具の使い方を学ぶ。	1 後	15	1			○
○		こどもと人間関係	こどもの誕生から人とかかわって成長していく過程を、発達の姿・心の育ちから理解する。子どもの内面に寄りそうことの大切さを保育者の資質として習得する。	1 後	15	1		○	
○		こどもと言葉Ⅰ	現在の子どもを取り巻く環境の変化について学びながら、保育に必要な基礎専門知識を得る。乳幼児の言葉の発達のしくみを知り、発達段階に合わせた関わりと言葉がけの大切さを理解する。	1 前	15	1		○	
○		こどもとリズム表現Ⅰ	表現活動に必要な教材研究とその実践を通して、子どもの創作表現に適切な援助と指導が行える能力を養う。	1 後	15	1			○
○		こどもと音楽表現	バイエル・・・ノン・ミス、ノン・ストップ演奏。反復の通し練習と不得手な箇所克服。強弱記号どおりの演奏。 弾き歌い・・・ノン・ミス、ノン・ストップ演奏。反復の通し練習と不得手な箇所克服。楽曲に指定されている良いテンポ。 ソルフェージュ・・・正確な音程とリズムで歌う。大きな良い声で歌う。正確に階名で(ドレミ)歌う。	1 2 3 通	75	1			○
○		文章表現	提示された題材についてミニ・ディベートを行い、自分の意見をまとめる。礼状・履歴書の書き方など、失礼のない公的文書の書き方を学ぶ。	1 通	60	2			○

○		こどもと体育 I	保育者として実際場面で活発な運動遊びを展開させることができる知識と技術を習得させることをねらいとする。 運動遊びのアイデアを踏まえながら、臨機応変に指導するための基礎力を身につける。	2 前	30	1			○
○		こどもの保健 I	こどもの健康を守り推進するという重要な役割を持つ保育士として、保育上必要な小児保健の知識を修得する。	2 前	30	1	○		
○		こどもの保健 II	小児保健の意義を理解し、根拠ある知識を深め、保育士として実践できるように技術を深める。	2 後	30	1	○		
○		こどもの食と栄養	こどもの身体の特徴を理解し、小児期に必要な栄養・食生活の重要性をそれぞれの時期に応じた食事の知識を習得する。	2 前	15	1	○		
○		障害児保育	保育士国家試験科目である「こどもの保健」において、特に障害関係の出題に関して、合格点である6割が取れることを目指す。 各種障害の中でも、特に発達障害について学ぶ。	2 前	15	1	○		
○		こどもと造形表現 I	陶芸の基本を学び、粘土の性質しり、現場での実践に役立てる。	2 前	30	1		○	
○		教職論	教職の意義、教員の任用と服務、具体的な職務内容、資質向上と研修、職場の環境、教育実習の目的と実際、教員採用試験の実状と対応、保育者の資質と役割等について、教職論に関する資料や学習プリントなどを通して追求する。	2 後	60	2	○		
○		教育課程論	「教育課程」「学習指導要領」「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」について理解を深める。教育政策の変遷を学び、社会情勢や子どもの状況と教育の関わりを理解する。保育計画の作成の留意点などを習得する。	2 前	60	2	○		
○		保育内容総論	保育内容や保育方法が園生活においては、どのような仕組みで子どもたちの発達を支えているのかを学ぶ。保育所・幼稚園における保育内容を、教育：5領域[健康・人間関係・環境・言葉・表現]と養護：「生命の保持」「情緒の安定」から考える。保育所保育指針と幼稚園教育要領における保育内	2 後	30	1	○		

			容のとらえ方を学ぶ。「年齢と保育内容」「子育て支援と保育内容」を学ぶ。						
○		こどもと言語表現	こどもが楽しめる表現や色使いを学び、専門的な知識技術を得る。保育現場における児童文化財の重要性を考え理解し、教材作りを実践する。	2 後	30	1		○	
○		教育方法論	教育の方法及び技術の習得。「生きる力」を育むための教育方法について、歴史的概観、基本原理、授業の設計などを学ぶ。	2 後	60	2	○		
○		教育相談	教育相談の理論及び教育相談をすすめる際の基本的態度・基本的姿勢を理解した上で、グループディスカッション・グループワークを通して、相談技法を習得し、教育実践に活かすことができる。	2 前	60	2	○		
○		乳幼児保育	乳児期の子どもの成長発達（こころ・ことば・からだ）・環境・保育内容を学ぶ。乳児期に保育現場に必要な知識・技術を実技指導を通して学ぶ。乳児保育に必要な知識（保護者支援・歴史と現状・児童福祉法・保育所保育指針）を学ぶ。	2 前	15	1	○		
○		情報処理Ⅱ	幼稚園や保育園などの教育機関において、名簿の作成ほか表作成からデータベースの処理が必要となるデータを作成する際に必要となるExcelの知識と技術を活用できる能力を身につける。	2 通	60	2		○	
○		教材研究Ⅱ	「ペーパーサート」「牛乳パックシアター」「パクパク人形」の個人製作と「手遊び」「折り紙」など基本的な教材技術の習得。活動の「導入」や「演出」を工夫したり、グループワークや発表の際の自己発揮、人前での表現にも慣れていくことを目的とする。	2 通	60	2		○	
○		リトミック	ピアノ技術向上と共に、写譜を通して楽譜についての基礎知識をつける。年齢別のリトミック指導をティーチングを通して獲得する。クラップやステップをすることで身体表現力を高める。簡単なリトミック遊びを身に付け実習や就職してから役立たせる。	2 通	60	2		○	
○		保育実習指導	実習に向けての基本的な心構えを理解する。日誌の書き方、指導案の立て方を確認し自分なりに立てる。実習の振り返りをして課題や反省点をみつけ次に繋げる。こどもの前で演じる力	2 3 通	150	4	○		

				を付ける。						
○			相談援助	保育・福祉の現場で、子どもや保護者に対して適切な援助ができるよう知識・技術を学ぶ。	2 前	15	1	○		
○			こどもと体育Ⅱ	各種運動遊びの特性と実践的展開に必要な指導技術の基本を理解し対象に合わせた指導プログラムをたて、指導が出来るよう実際に模擬授業を行い授業の展開や方法について学習する。	2 後	15	1			○
○			こどもと健康	子どもの健康な心と体を育て、健康で安全な力を作りだすための内容について学び、保育者の援助や関わり、発達援助に必要な知識技能を習得する。	2 後	15	1	○		
○			こどもと環境	領域『環境』について学び、保育に必要な知識を得る。身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で、様々な事象に興味や関心をもつ。	2 後	15	1	○		
○			こどもと造形表現Ⅱ	「えがく」「つくる」「造形遊び」などの題材や環境構成、援助の在り方について、知識と制作体験を関連付けながら学ぶ。	2 後	15	1		○	
○			社会的養護内容	社会的に養護が必要な児童などの家庭的背景を学び、地域生活、施設生活それぞれの支援に対する理解を深めていく。	2 前	15	1	○		
○			教育実習	幼稚園の機能と幼稚園教諭の職務について学ぶ。子どもの実態を知り、それに適した援助について学ぶ。日々の体験・評価・反省を通して、自己課題を明確にする。	2 3 通	160	4			○
○			教育実習事前指導	実習のあり方、心構えを学び、実習後の振り返りや体験を通じての気づきやつまずきなど、修得すべき課題を明確にする。	2 前	10	1			○
○			保育実習Ⅰ（保育所）	保育所の生活に参加し、乳幼児への理解を深めるとともに、保育所の機能と保育士の職務について学ぶ。	2 通	80	2			○
○			リクルートガイダンス	就職活動を行う際に必要になる履歴書等必要書類作成に関する学ぶ。模擬面接など模擬就職試験を行い就職内定を獲得するためのスキルを身につける。	2 3 通	90	3	○		

○		保育・教職実践演習	これまでの学びを振り返り、将来保育者として働くものとしての知識及びスキルを身に着ける。	3 後	60	2	○		
○		教材研究Ⅲ	日々の保育で使えるグッズの制作遊びとその導入・使用法の習得(手遊び・遊びうた・集団遊び・遊びに繋げる制作他)人形劇団を結成し園訪問公演活動を行うお楽しみ縁日ごっこの企画・準備・実演をする	3 通	120	2		○	
○		情報処理Ⅲ	現場で実践的に使えるおたより作成PowerPointの基本操作をおさえ、PowerPointを使用しデジタル絵本を作成する。	3 通	60	2		○	
○		卒業研究	コードネームから伴奏付をし弾き歌うことで、現場でのピアノ表現を可能にする。また、子どものための歌作りを行い、自らの表現を譜面に起こすことで幼児教育に必要な音楽の在り方を学び、読譜力を養う。	3 後	60	2			○
○		リトミック応用	ティーチングを通して年齢別のリトミック指導を獲得する。簡単なリトミック遊びを身に付け実習や就職してから役立てる。	3 通	60	2		○	
○		保育相談支援	事例問題を通して保護者相談の実際を学ぶ。相談技法について、お互いのロールプレイを通して学ぶ。	3 前	15	1	○		
○		こどもの保健Ⅲ	保育の現場において、養育や看護、日常生活における育児に役立つ実践できる知識技術を習得する。	3 後	15	1	○		
○		教育実習事後指導	保育園と幼稚園の違いを明確に理解し、教育実習に相応しい知識・技術を身につける。意欲的に実習を行うための模範的な実習態度を身につける。実習の振り返りを行い、自分の課題を明確にする。	3 前	15	1	○		
○		保育実習Ⅰ(施設)	児童福祉施設等(保育所以外)の生活に参加し、子どもへの理解を深めるとともに、児童福祉施設等の機能と保育士の職務について学ぶ。	3 通	80	2			○
	○	保育実習Ⅱ(保育所)	保育所の生活に参加し、乳幼児への理解を深めるとともに、保育所の機能と保育士の職務について学ぶ。	3 通	80	2			○
	○	保育実習指導Ⅱ	子どもを深く理解し1人ひとりに応じた援助を行えるように、それぞれの年齢における発達過程の特徴を理解する。社会福祉施設が「子育て」の一	3 通	30	1	○		

			端を担っている側面を知り、さらに子どもの理解を深めた上での振り返りを行う。						
	○		保育実習指導Ⅲ	子どもを深く理解し1人ひとりに応じた援助を行えるように、それぞれの年齢や障害の特徴を理解する。社会における社会福祉施設の担う役割を知り、さらに理解を深めた上での振り返りを行う。	3通	30	1	○	
	○		保育実習Ⅲ(施設)	児童福祉施設等(保育所以外)の生活に参加し、子どもへの理解を深めるとともに、児童福祉施設等の機能と保育士の職務について学ぶ。保育実習Ⅰで学んだ知識技術を活かし、より応用力のある援助や関わりを身につける。	3通	80	2		○
○			卒業制作	在学期間の集大成となる卒業発表制作を行う。最終制作課題であることを意識し、在学生に影響を与えられるような作品作りを目指す。	3後	15	1		○
○			総合演習	卒業に向けて、卒業研究、校外行事の打合せなどの準備を進める。	3前	60	2		○
○			一般教養	就職に向けて国語、社会、算数の分野において、社会人として必要とされる基本的事項を理解する。社説を読む、小論文を作成することによって社会に関心を持ち、就職試験に備える。	3通	30	2	○	
○			HR(ホームルーム)	教育・社会福祉分野において専門的な知識・技術と合わせ、教養・人格度の高い道義・礼節・作法をも身につけた人材育成のための指導を行う。	1 2 3通	90	3	○	
合計				39科目	2910単位時間(77単位)		